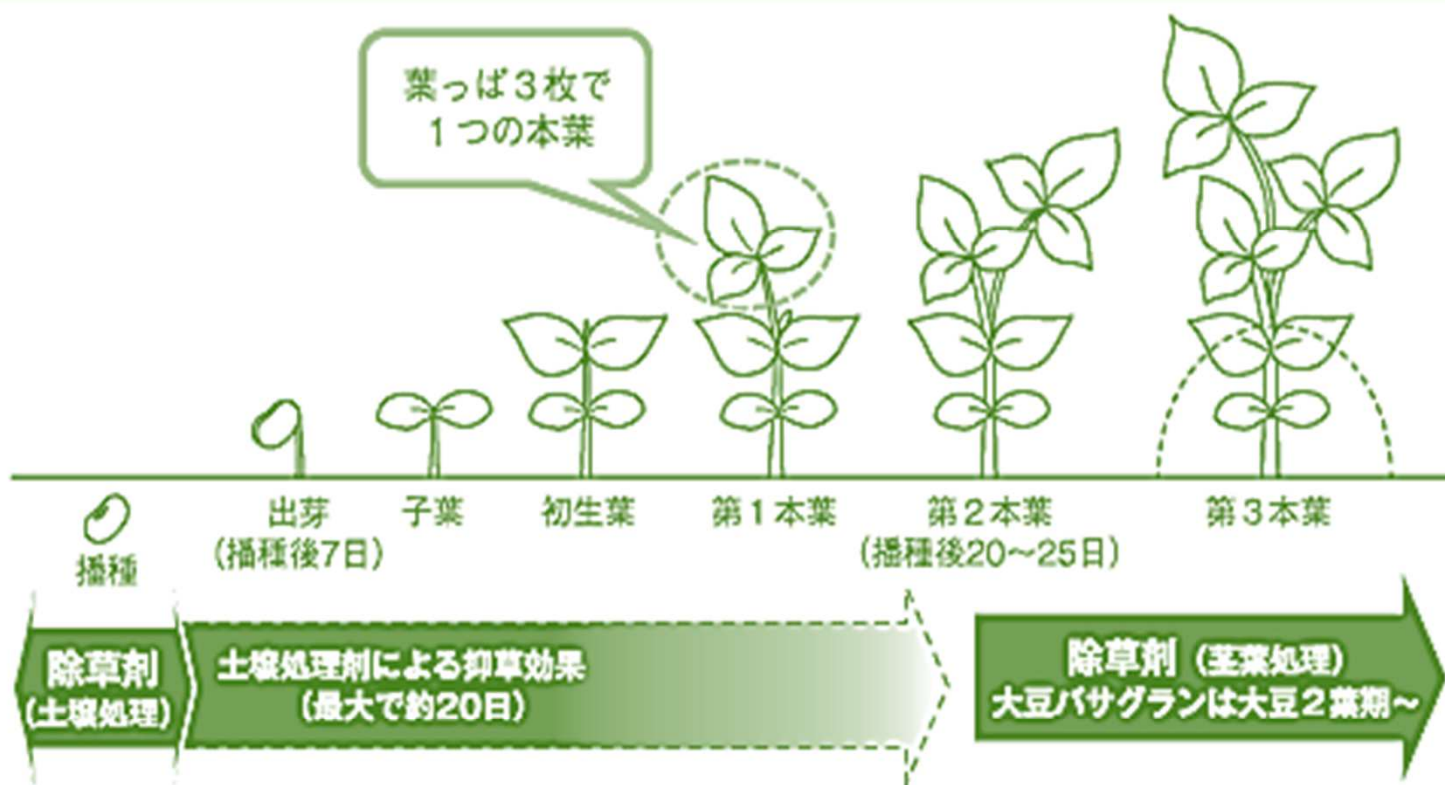


【大豆栽培における雑草防除の考え方】

- ①苗立ちを良くして、大豆で土壌表面を覆う
- ②大豆が小さい間は、土壌処理剤と茎葉処理剤で抑草する



③株間除草の徹底

大豆が繁茂してからだと、株と株の間には薬液が届かず、残草する
大豆が小さいうちに、なるべく早く撒くのが肝心

一方、茎葉処理剤は残効がないので、雑草発生量との兼ね合いで散布時期を決める



※難防除雑草（帰化アサガオ等）が発生している場合は、相談してください。
（特に狭畦栽培で、難防除雑草の繁茂により収穫不能となる事例が発生しています）

特に狭畦栽培では、条間および株間除草の徹底が不可欠！
大豆が繁茂する前、かつ大豆2葉期以降に除草剤を散布しましょう！